

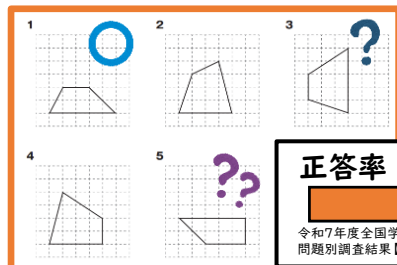


小学校・算数 「なんとなく」を「確かな学力へ」

現状と課題

R7全国学力・学習状況調査問題

複数の四角形から台形を選ぶ問題において、多くの子供が苦戦している現状



正答率 49.5%

令和7年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【算数】千葉県児童(公立)

①は絶対に
台形だけど…

向かい合う
一組の辺が
平行な四角形…

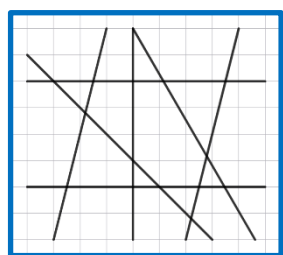
③や⑤は
台形と言える
のかな？

- ・台形の定義を覚えていない？
- ・覚えていても「言葉だけの知識」にとどまっている？
- ・「台形」だけでなく、他の図形についても同様の状況かもしれない？



根拠をもって、台形を「見付ける」「伝え合う」「作り出す」活動を通して、全ての子供たちの確かな理解を！

①「この中に、台形はいくつかくれているでしょうか？」



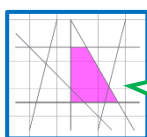
見付けたよ

3つ!

もっとありそう。

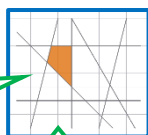
②

大きな台形があった!



これも台形だね。

これも台形っぽい。

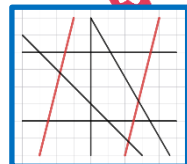
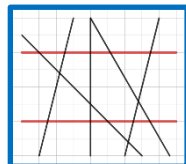


…あれ?

③「どうしたら見付けやすくなるでしょうか？」



平行な直線に色を付けたいです。



「どうしてかな？」

〇〇さんが言いたいのは、台形は向かい合う一組の辺が…

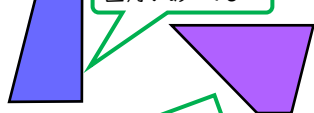


まず、全ての子供が取り組めるようにすることが重要です。

子供の思考をつないで、本質に迫りましょう。

④

直角があっても…



上の辺が下の辺より長くても…



こんな向きでも台形なんだ!つまり…

向かい合う一組の辺が平行な四角形は、台形!

もし、向かい合う二組の辺が平行だと…

⑤「見付けた形について、『本当に台形だ』と友達が納得するように、説明し合ひましょう。」



台形に見えないけど…

台形だよ。だって、この辺とこの辺が平行だから…

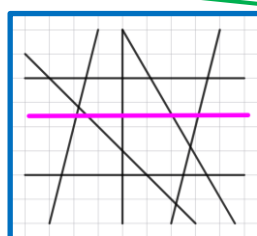
必要感

全ての子供が、考えを「アウトプット」する機会を設け、学びを自分事にできるようにしましょう。

⑥「台形を増やせるかな?どんな線を引く?」



今ある直線に平行な直線を引けば、台形をたくさん増やせそうです。



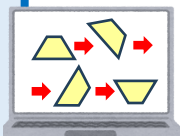
平たい形や、三角形みたいな形ができた!これも台形だよ。だって、…



「紙とICTのハイブリッド」で理解を深める

どちらが効果的かは子供一人一人によって異なります。

子供自身が、最適な方法を選び、自分の学びを振り返って、次の学びに生かしていけるように、環境を整えることが大切です。



教師の関わりが重要

目の前の一人一人の子供たちの学びを把握して、全ての子供たちが自分の学びを最適にできるように積極的に指導・支援します。学びを深める言葉かけや問いかけをしたり、見守ったりし、子供たちの学び力を育てましょう。

